

今回の紹介地区 No.045 岡山県 勝央町 古吉野地区 こよしの

耕作放棄地再生利用緊急対策を活用した事例

**状況**

地区概要：農地面積 243.1ha、うち耕作放棄地 8.49ha  
 放棄の理由：農業者の高齢化に伴う労働力不足  
 荒廃の程度：雑草の繁茂に加え雑木の侵入も認められ、人力、農業用機械、重機による作業が必要

**取組概要**

対象面積：0.88ha(畑)  
 実施期間：平成22年 1月29日～3月25日  
 取組のきっかけ：経営規模の拡大の意向を持っていた農業者が、新聞記事で国の制度のことを知り、地域協議会に相談することで取組が始まった  
 調整経緯：農業者自らが地主と交渉し、農業委員会の協力を得ながら地主と協議、利用権設定を行った  
 取組主体：農業者(予定作物：小豆等)  
 作業内容：雑草や樹木の刈払・処分、整地、土壌改良

**今後の予定**

平成22年1月に再生作業、土壌改良(肥料投入)を実施し、その後小豆、ねぎ、などを作付け予定。



再生作業前



再生作業実施中



再生作業後

問い合わせ先：勝央町地域担い手育成総合支援協議会 0868-38-3112 (勝央町産業建設部)